

「全鍍連」 2023年 7月号 巻頭言

全鍍連 総務担当副会長 山崎 慎介 (東新工業(株) 代表取締役社長)

「ダイバーシティに向けて」



コロナ禍になって丸3年、中国のゼロコロナ政策も終わり、中国との往来もある程度自由となり、中国ビジネスが再開となりましたので、自分の中の中国のスタンスを確認するために中国人の面子（メンツ）について思うままを書かせて頂きました。

おお！「面子(メンツ)」が足りないから入ってよ。今日は授業に出ようと思ったのに大学の入り口まで行ったのに麻雀に誘われた。これじゃあ俺の面子（メンツ）は丸潰れだよ。と面子と言う言葉を使われることも多いかと思えます。弊社は中国に二か所の工場を持ち、香港に事務所、台湾での現地企業との技術支援の会社を持っており、この面子と言う言葉、中華圏で会社を運営する上でのキーワードであり、中国人の面子を理解することが赴任者の大きな仕事の一つであります。中国人にとって面子は命より大切なものと言われており、中国人は面子を重んじ、時には政治や外交問題までも左右します。そんな大袈裟な！と思われるかも知れませんが、相手の面子を潰してしまい、纏まりかけたビジネスがダメになることもあるし、現地でのあらゆる人間関係が成り立たず、役所はもちろん、取引先、現地の社員にも総スカンを食い、裏切られるほどの大きな意味を持っているものです。逆に相手の面子を立てる、面子に入れると、ある程度のビジネスは成功するし、現地の社員は勿論のこと、相手との関係は日本では考えられないほど濃密となり、日本の社員以上の愛社精神を持ち、社長やら赴任している上司への尊敬を日本の社員以上に持って、作業に邁進してくれるほどの深い意味合いを中国人の面子は持っています。

面子とは中国人の見栄だと言う日本人も多いのですが、見栄の一言では片付けられないし、プライドの一種ではあるがそればかりではなく、時に見栄、プライド、時に序列、礼節、義理人情、恩、時に麻雀で言うメンバーと言うより信用する家族同様の仲間、マフィアで言うところのファミリーと、中国人の面子を理解し、面子になるためには多くの時間と労力を要するものです。何かと日本人が悪く言う中国人の金銭感覚だったり、仕事の姿勢だったり、言い訳三昧、技術を盗まれる、裏切りも私が感じた範囲では、この面子に大きく左右されるようで、中国人の面子を理解すれば、あながち悪いことばかりではありませんし、より強い絆を作り上げることが出来る関係へのキーワードが面子であります。

面子とは文字通り顔であり、日本でも「面子を立てる」と「顔を立てる」は同義語であり、「面子を潰す」と「顔に泥を塗る」は同義語で、中国人の面子もそれに近いものではありませんが、もっと重要なものなのです。彼らの面子の中には前述の意味の他に、顔が広い、人脈が豊富にあると言う「面子大」と言う言葉もあり、面子大と言うことはどれだけの大物か、どれだ

けのお金を使える人か、お金を使えると言うことは稼げる人、お金を稼げる能力がある人、面子大はその人の能力を表し、面子の大きさによってその人の面子は更に大きく立つことになり、人間関係やビジネスが広がることを意味します。中国人の面子は表に見えなければ意味がなく、人を接待する、特に人をもてなすときは盛大にもてなすし、人が羨むもの高価なものを持ち、それを買うためにはそれなりのお金が必要で、それなりのお金を稼ぐには、地位や能力、甲斐性、権力が必要であり、それを人に見てもらふ、褒めてもらふ、感謝してもらふことによってその人の面子が立つのである。だからキーマンと食事をするときは、大げさに美味しいと感謝し、場所を誉め、もう食べられませんかと残すくらいに大げさに感動する、その人の持っているものを観察して気付いたら大げさに何度も褒め、羨ましがると彼らの面子が立ち、繰り返して行くことによって面子に入ることが出来、ビジネスの成功に繋がります。また日本人に評判の悪い白酒（バイチュー）での乾杯も色々と面子になるための作法もありますが、潰れるほど飲んで仲間として入り込むことが不可欠となります。また余談ですが、面子が立つのは物や場所だけではなく、若々しくて美しい奥さんや愛人（愛人とは中国では奥さんのことで、皆さんがお持ちの愛人は情婦とか第三者と言います）を持つことも中国人の面子のひとつです。いくら優しくても気立てが良くてもブスやデブはダメで、美しい心は外からは見えず、美人でナイスバディの女性は連れて歩けば目立つからで、人に紹介して褒められる、羨ましがられる、街で人々が振り向けばその人の面子が立つからであります。因みに習近平国家主席の愛人（奥様）も美人であり、私の近くの面子大の老板（社長）たちの奥さんも情婦さんも往々に美人であり、朋友（友達）の愛人、情婦の皆さんも不謹慎ながら目が釘付けになるようなナイスバディの美人ばかりです。

何につけても大袈裟に褒めることで中国人の面子が立ち、また逆にこちら側にも見える行動が必要です。これは麻雀やゴルフの遊びをしても同じで、相手の道具を褒める、相手が勝ったらすかさず褒める。それによって相手の面子が立ち、結果としてそれを繰り返すことによって面子に入ることが出来、ビジネスの成功に繋がって行きます。余談ですが、ゴルフクラブを褒め、羨ましがったら翌日に70万円くらいの新品のクラブ一式をポンとくれました。勿論、当方が接待する時、贈り物をする時も同様で、センスの良いものより大きく目立つ物、贈られた人が他人から目立ち羨ましがられる物、俺の日本人の朋友（友達）が俺のためにくれたと自慢出来る物、日本でしか売っていない物、たとえ安くとも限定品で手に入り難い物が彼らの面子を立てることとなります。そんなことも中国人が日本に来て爆買いする理由の一つではないかと思えますし、私の知り合いは朋友のために秋葉原で、美味しくお米が炊ける日本限定の釜土炊きの炊飯器を25台も買い、帰国日に私にも一台くれましたし、日本限定の薬やら化粧品を百万円以上も買いました。貰った人が褒める、喜ぶ、感謝する、貰った人が他の人から褒められる物を、わざわざ日本から買って行くことによって、貰った人の面子も立ち、贈った人の面子も立つのからです。また、お返しをする、すなわち面子のやり取りは必要であるが、中国には単なるお返し、お礼と言うのは存在せず、面子は面子でしか返せないものであるところが、なかなか理解し難いところでもあります。近頃はこれ

が面倒臭いと思っている中国人も多いが、地縁も血縁もない日系企業が海外、特に中国でビジネスを成功させるためには、あらゆるカルチャーを理解せずには成功はあり得ず、中国人の面子を理解することは基本中の基本であり、中国及び中国人を理解する大きな側面でもあります。赴任者もそれを掛け違えないよう、日々乾杯の嵐にへろへろになりながらも奮闘努力している毎日です。一口に中国と言っても広く、会社のある広東省と浙江省、また台湾と香港では文化も気質も違い一言では言えませんし、面子に拘らない人、貸し借りの面子文化が鬱陶しいと思う中国人だって、人付き合いの嫌いな中国人だって、大きいものより目立たずセンスの良いものを好む中国人だって沢山いるはずです。日本人がみんな綺麗好きで礼儀正しい訳でもなく、大人しいフィリピン人だって、ナンパが出来ないイタリア人だって、足の遅いケニア人だって、音痴の黒人だって沢山いる筈です。まだまだ面子についてはこの紙面の 10 倍あっても書き足りない部分もありますし、この文章だけでは誤解も多いことは十分に承知しておりますが、これからの人手不足の日本で海外の人材を活用する上で、中国人との付き合い方の一助になれば幸いです。当社には多くのフィリピン人、タイ人、モンゴル人、中国人の技術者が在籍しており、またの機会に他の国の気質やらを書かせてもらえれば幸いです。